



まつえだより



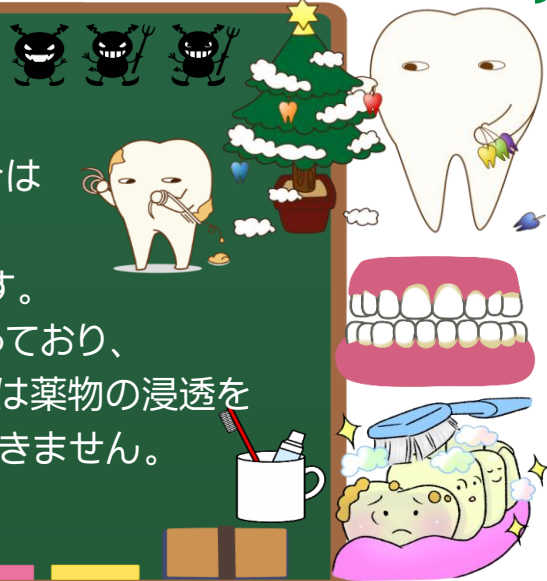
12月号は、歯周病と糖尿病の深い関係 ②

プラークについてです

歯周病はプラークが原因



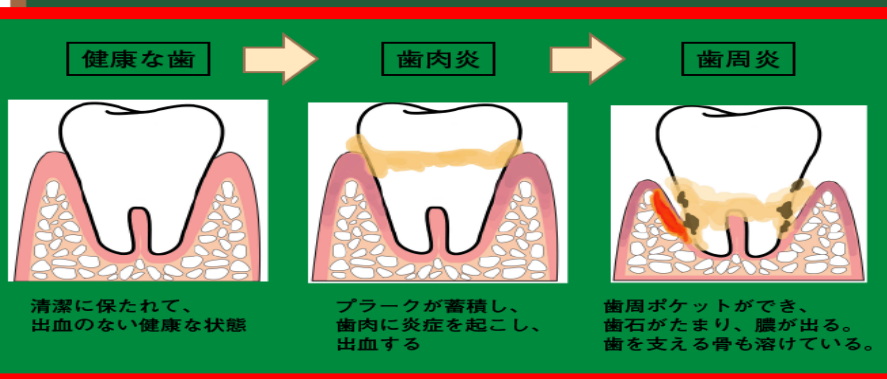
歯周病は、成人が歯を失う最も多い原因です。日本の40歳以上では半数以上に認められ、患者の割合は年齢とともに増加します。歯周病の原因は歯の表面に付着している「**プラーク**」、いわゆる磨き残しの歯垢です。プラークは歯の表面に細菌が被膜を形成しバリアとなっており、「バイオフィルム」とも呼ばれます。このバイオフィルムは薬物の浸透を防ぐため、水や洗口剤などで口をすすぐだけでは除去できません。しかし、歯磨き(ブラッシング)で簡単に取り除けるため、ブラッシングが最も大切になります。



歯周病で骨が溶けてしまう



プラークは、主に細菌で構成されていて、その中には歯周病原菌も含まれます。歯周病の原因となる細菌は歯と歯肉の隙間、「**歯周ポケット**」で増殖することで、歯肉に炎症を起こし、さらに歯を支えている**骨を溶かして**しまいます。歯周ポケットが深くなるほど歯を支える骨が失われ、最後は支えきれずに抜歯に至ってしまいます。



定期的なブラッシング指導を受け、自己流の間違ったブラッシングを続けられないことが必要です！
かかりつけの歯科医院をつくり、年に1、2回のチェックとクリーニングを行うことをおすすめいたします。

年末年始 お知らせ
12月28日(水)～1月5日(木)までお休みさせていただきます。
1月6日(金)～通常診療開始